

由布市の交通はこれでもいいの？

1人の外出・通学、1日につき3000円の税

番号	路線名	平成27年10月～平成28年9月			平成27年10月～平成28年9月		
		利用者数	運行回数	1便平均	運行費用	運行収入	収支率
1	七蔵司	1,012	190	5.3	1,488,760	188,200	12.6
2	北田代	1,845	200	9.2	2,294,880	343,100	15.0
3	片野	1,140	197	5.8	1,392,850	205,700	14.8
4	朴木	617	200	3.1	1,608,000	99,900	6.2
5	筒口	717	200	3.6	1,739,430	125,800	7.2
6	下詰	311	190	1.6	742,712	48,900	6.6
7	時松	747	188	4.0	1,263,360	142,000	11.2
8	南田代	687	190	3.6	1,018,400	127,100	12.5
9	酒野	272	187	1.5	554,209	53,900	9.7
10	平石	476	190	2.5	1,669,160	92,200	5.5
11	上切畑	637	188	3.4	1,409,400	119,300	8.5
12	みの草	581	194	3.0	1,344,420	115,400	8.6
13	小枝間・地の本	648	200	3.2	2,101,920	124,200	5.9
14	阿蘇野	1,837	200	9.2	2,824,321	334,600	11.8
15	長野	882	200	4.4	1,960,280	174,100	8.9
16	小袋	632	200	3.2	1,399,520	114,400	8.2
17	大津留	476	194	2.5	1,703,960	94,400	5.5
18	テマツ(庄内)	103	50	2.1	87,260	41,600	47.7
19	水地	599	186	3.2	1,679,580	111,000	6.6
20	下津々良	354	186	1.9	1,186,680	64,200	5.4
21	畑倉	283	200	1.4	1,140,000	48,900	4.3
22	塚原	1,475	198	7.4	1,293,000	240,100	18.6
23	奥江	461	200	2.3	1,324,000	82,700	6.2
24	湯平	1,677	182	9.2	1,962,000	269,800	13.8
25	朴木(ス)	966	729	1.4	2,123,657	152,200	7.2
26	大津留(ス)	2,277	729	3.1	1,848,700	131,260	7.1
27	阿蘇野(ス)	2,248	729	3.1	4,815,300	402,400	8.4
28	湯平(ス)	5,096	726	7.0	6,442,500	772,300	12.0
29	塚原(ス)	3,324	723	4.6	5,509,000	526,300	9.6
30	シヤトル(湯の庄)	2,661	870	3.1	5,383,240	459,200	8.5
31	シヤトル(庄内)	4,746	1,003	4.7	5,163,416	867,100	16.8
32	石城(ス)	3,892	729	5.3	7,141,373	718,900	10.1
33	健康温泉館	1,304	93	14.0	1,315,400	253,600	19.3
計		45,003	10,841	4.2	74,930,688	7,644,760	10.2

往復とも2台
金曜日のみ2台

週1回運行

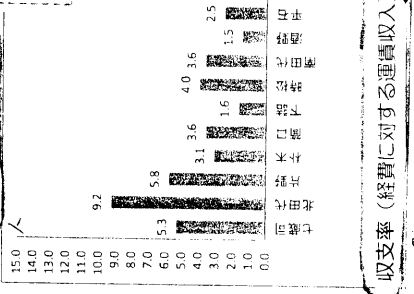
由布市のバスは、大分市・別府市から毎日やってくる。大分バスは、半分以上が回送……。もし由布市内に車庫があれば、どのくらい回送を減らせるか、シミュレーションしてみてもいい？

亀の井バスのH29年度の委託費は299円/km。一方、大分バスはわずか122円も増額！

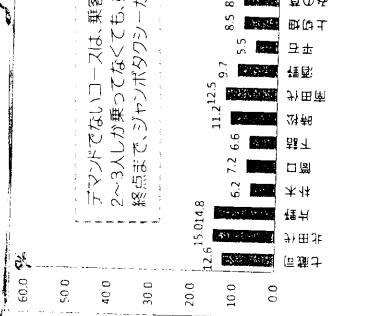
2社の違いは何だろう？

コーバスは、せ〜んぷ〜くくるめて、延べ4.5万人、運賃収入764万円、税金負担6728万円。(6728万円÷4.5万人=1495円) 1人の往復に、平均して2990円の税金を使う。バス停まで歩ける人はいいけど、歩けない人は自力で何とかバスまで歩いていかない。誰もが利用できる方法が他にもたくさんあるのに……不公平！

1便あたりの利用者数



収支率 (経費に対する運賃収入)



テマツでないコースは、乗客ゼロでも、2〜3人が乗ってなくても、始発から終点まで、シヤボタタクシーが走る

テマツ(庄内) 龍原の税負担が9万円(週2回換算)なのは、予約に合わせて、必要な時、必要な区間だけ、普通車で運行するから。

この他に小学校統廃合の送迎があるので、毎年8000万円超を交通に使っているはず。運行方法や経費を見直して、この8000万円を、もっとたくさん市民が、もっと便利にお出かけや、通学ができるようにしたいですね。

免許返納にも、生活不活発病、認知症の予防にも、地元商店でお買い物をしてもらうためにも、国の規制緩和を先取りしましょう。

タクシーは小回りが利いて、無縁もある。希望が多い地域からテマツ(予約制送迎型)に、前日夕方までの予約で普通車で済めば、節約した分、午後にもう1便走らせられるかも。空席があれば当日予約もOK。

実車走行 km あたりの経常費用等 (単位: 円/km)

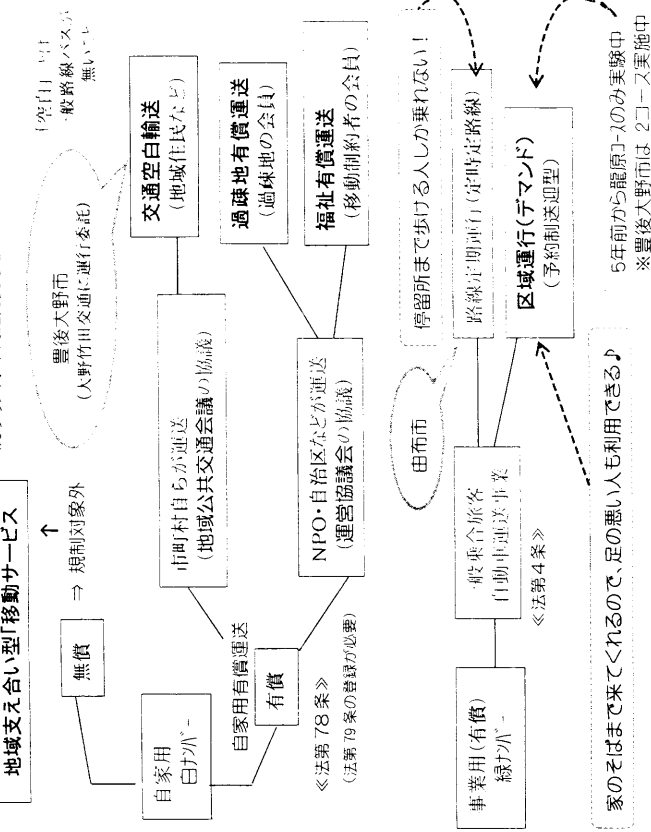
	H26/10 ~ H27/9	H27/10 ~ H28/9
一般道路	262	272
大野竹田バス	168	171
大分交通バス	280	286
大交北部バス	142	149
亀の井バス	※ 242	※ 245

※ 亀の井バスは、田布市の委託に使われた車庫(赤字補助路線がないので、県では非公表)

H26年度	実車 (単位: 円/km)		H26年度	実車 (単位: 円/km)	
	回送・実車 kmあたり	向送の割合		回送・実車 kmあたり	向送の割合
由布市	242	39%	由布市	151	20%
亀の井バス	147	57%	豊後大野市	189	20%
大分バス	市有車両(9台) (臨時送迎路線のみ、シヤボタ、社外)
タクシー協会	419	...			

道路運送法と地域住民の暮らしの足

登録許可を要しない運送 (118年 福祉 福祉有償運送の制度強化に伴い、町交省事務連絡) (カンパニ代表車両維持費などの実費程度は認めらる)



これからの地域の交通は、公助と共助で 過疎地・福祉自家用有償運送の提案

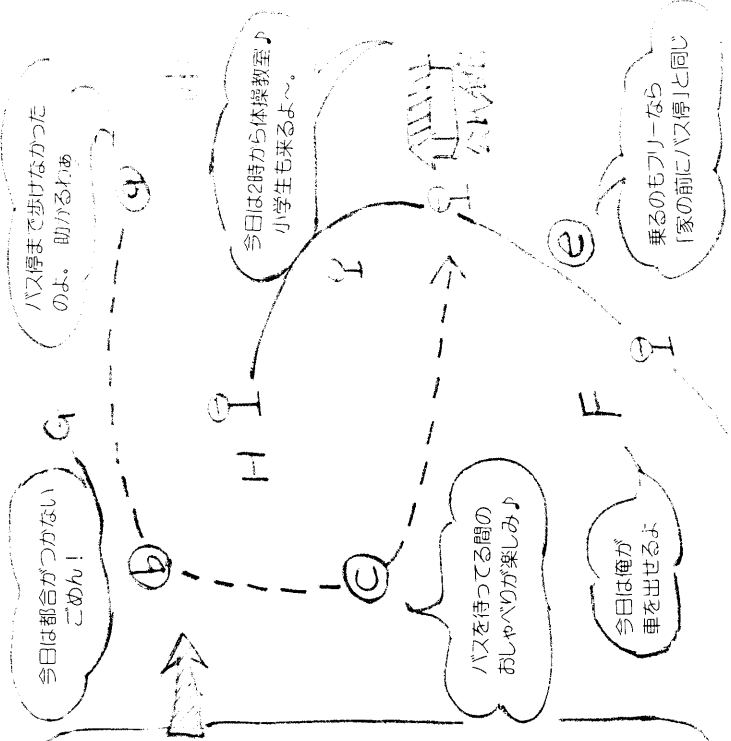
市が運営協議会を設置して、そこでOKなら運輸局(県)に届ける。登録制で、FGHさんが自家用車を使って、@b@c@dさんを有料で送迎することができ。しかし、タクシ業界などの反対に行政が遠慮して、全国的にもなかなか実現していない。

でも現実には、塚原や阿蘇野など周辺部では、地域内の公民館や友人宅までの短距離では、タクシーは都合よく来てもらえない。別途、回送料が必要だったりもする)

そういう地域に限定して始めるなら、タクシー会社も反対できないのでは？

(タクシーでなくバスのコースでは)ユーバスの時刻に合わせて、自家用有償運送で公民館などに集まって、おしゃべりしながら待つのだ。停留所まで行けない人が、通院費物の度に何千円もタクシー代を払わなくて済む。潜在的なお出かけ需要が表に出てくれれば、さっと、公的交通だけでは物足りなくなる。自家用有償の区域も少しずつ広げろ。『いつでもどこでも』のタクシー需要も増えてくるはず。

移動のハイを大きくして、共存共栄は可能♪



「タクシー代が払えない!」
「免許返納しても困らないようにして!」
「バス停まで歩けない!」
住民の皆さんの声を、たくさん、直接、市役所に届けましょう。
当事者の言葉が届かないと「要望が無い」「現状に満足」にされて、見直しも新規事業も進みません。

塚原行きの県道や、湯平内行ききの210号は、5km走るのにせいぜい5~6分。これを別府市内の一般路線の単価で計算されちゃたまたまない。大分バスも電の開バスも「運転手が足りなくて対応が難しい」と言ってるぞうだ。
ユーバスは市民の暮らしのためで、バス会社の赤字を助けるためにあるのではない。

今のやり方で由布市の交通需要を支えるのは無理がある。ユーバスの「定時定路線」は、沿線に多くの利用者がいないと成り立たない運行方法だ。タクシーの機動力は、予約制送迎こそ発揮される。

田舎で、マイカー無しで、在宅で、安心して暮らすには、地域住民の助け合いを行政が支える仕組みが欠かれない。定時定路線バスは主要幹線に絞って、発想を変えた別の方法を考えるしかないと思う。そうでないと、過疎地の免許返納も、在宅も、介護予防も難しい。 (例)過疎地の小学校の送迎は、遅延申請すれば地域住民も乗る。

由布市は、『公共交通網形成計画』を策定中(コンサルに約900万円委託)

この計画に、①デマンド拡大、②事業者委託の公共交通空白輸送、③住民参加の過疎地自家用有償運送、を盛り込んで、早急に着手してもらいたしませんか?
こつこつと、計画はあくまで計画で、なかなか実現されないんだけど、過疎化・高齢化の中、困っている住民すべでの「暮らしの足の確保」は、絶対に必要な政策です!

2017年9月 第17版
湯布原町 谷 千鶴
080-5205-1356
詳しいことは、名前でブログを検索。
(携帯番号) 右の「カギ」に「1」
「ユーバス」をキーワードに入れてみて

住民の暮らしを良くする市政のために
私がNPOおおい市民オンブズマンの会員である由布市市民として、又書公開を求め無駄遣いを指摘し、代案を出してきた。それは、住民がいさきわくわくになれる事業をやってほしいから。
公共交通では、「住民の過剰的な需要を担い起こして、こんな暮らしができるよう、もっと効率的な運行を」という工夫が足りない。いわば、不作為。
事業の評価・見直しを毎年きつちりやれば、由布市民の暮らしはもっと豊かになれるのでは？
でも、意思決定過程の文書がないので担当者異動すれば撤回し。評価はできず、前例踏襲が続く。
……これでは、職員人件費の無駄だ!
「違法じゃない、不作為も」違法じゃない。
個人では難しいこともあって、6月、仲間「Yufu市民オンブズマン」を結成しました。でも、違法でないことを修正するのは、市民オンブズマンだけでは絶対にできません。多くの住民が、市長や議員にお任せしないで、継続して市政に関心もって、市役所や議会に、直接に意見・要望を届けること。
声が届かないと、「白紙委任」「現状で満足」にされちゃう!!
「ちゃんと見てよ!!」と、市長や議員に緊張感を持ってもらったのが結局は早道です。国政は無理でも、3万人の自治体なら、できる!

回蘇野小スクールは、市有車。朝夕各30分(雨天45分)の運転で、送迎委託費は、98,000円/月(8月除く)費用見直しとか、空き時間を高齢者のために有効活用とか、考えれば、湯平小スクール車は、08である中高生の利用も、授業中や土日祝は、校区のために活用してほしい。

実験中のデマンドだと、停留所に行ける人にとっては、電話の手間が増えて料金が入るだけになる。(地域で意見がまとまらないかも……)
上津江・中津江では、コース上の乗降は基本料金のままで、脇道に入っただけ追加料金まで迎えに来てもらう人だけ追加料金を払う。10程度のスリは「お互い様」だった。(スクール送迎と車両を共有して、タクシ 会社に運行委託)

